

令和4年(2022年)11月7日

西宮市議会議長 坂上 明 様

教育こども常任委員会 管内視察報告書

■視察日時 令和4年(2022年)10月11日(火)
午後1時10分から午後3時50分まで

■視察委員 委員長 一色 風子
副委員長 大迫 純司郎
委員 大川原 成彦
〃 佐藤 みち子
〃 篠原 正寛
〃 多田 裕
〃 田中正剛
〃 宮本 けいこ

■視察先 ①鳴尾小学校 鳴尾町5丁目4-6
②高須中学校 高須町2丁目1-48

■視察事項 教員の業務負担軽減策としての、学びの指導員の指導現場について

■視察概要

本年度委員会の施策研究テーマのうち「学校支援について～応答的な関わりができる環境づくり～」の研究・協議を始めました。今までにも様々な教員の業務負担軽減策については取り組んできており、議会としても教員の負担軽減に関しては過去にも提言をまとめてきた経緯があります。

政策提言を重ねても、学校現場は疲弊し教員不足は常態化している中で本来必要な児童生徒との関わりに関して十分に時間をとることができているのか？そのしわ寄せが学校全体にきていないか？などと考えるところです。

この度、負担軽減のための学校支援について現場で働く教員の生の声の聞き取りや現場の状況を見学させていただき施策研究を進めるにあたって必要な情報とするため、市内の小中学校を視察し、特に全校に配置されている学びの指導員の活動状況を見学しました。

■意見・感想

鳴尾小学校、高須中学校で活動されている学びの指導員の様子を見せていただき、各学校長に説明をいただきました。

学校規模に関わらず、学びの指導員の活動時間は一律に決められている中で各校で指導員の活動時間帯や活動の様子などは異なることや、その学校の課題によっても違いがあること、指導員の方によっても活動方法が違っていることなどをうかがいました。

また、高須中学校では独自の少人数学級の取り組みもされており、少人数学級によりグループワークなど機動的な学習ができることや生徒の日々の生活基盤を大切にされているなどのご説明をいただきました。

学びの指導員に関しては、学校規模による人数の増減や柔軟な運用の必要性、また、指導員の方と学校教員などの日々の連携交流できる時間の確保の課題を感じました。学びの質の向上、習熟度を上げるための学びの指導員の関わりが教員の負担軽減につながるのか？という疑問も委員からは出されており、その関係性についても検討する必要があると感じています。

■視察風景

(鳴尾小学校)



(高須中学校)



以上